

横ばいとなっている

(前回:横ばいとなっている)

生産は弱含み。輸出は15か月連続の増加。個人消費は持ち直している。
雇用は改善しているものの、一部に厳しさがみられる。

■ 1月生産:弱含み

(12月:横ばい傾向であるが、一部で弱含み)

● 鉱工業生産指数 97.4

前月比 ▲3.7% (2か月ぶり)
前年同月比 +2.0% (7か月連続)

● 全13業種中、上昇は5業種

電子部品・デバイス工業、電気・情報
通信機械工業 等

● 低下は8業種

汎用・生産用・業務用機械工業、輸
送機械工業、鉄鋼・非鉄金属工業、
窯業・土石製品工業 等

(出所:九州経済産業局)

■ 1月輸出:増加(15か月連続)

(12月:増加)

● 輸出額 5,681億円

前年同月比 +15.0% (15か月連続)

● 主要品目

自動車 1,025億円 +3.3% (7か月連続)
電子部品 976億円 +46.6% (12か月連続)
鉄鋼のフラットロール製品
479億円 +20.7% (5か月連続)

● 国別

韓国 914億円 +9.2% (30か月連続)
中国 803億円 ▲24.4% (2か月連続)
米国 648億円 +31.9% (8か月連続)

(出所:門司税関)

■ 1月個人消費:持ち直している

(12月:持ち直している)

● 百貨店・スーパー販売額(全店)

1,378億円 前年同月比 +8.8% (16か月連続)

- コンビニ 1,014億円 +5.7% (14か月連続)
- 家電大型専門店 318億円 ▲0.8% (2か月ぶり)
- ドラッグストア 587億円 +3.9% (8か月連続)
- ホームセンター 258億円 ▲1.0% (2か月ぶり)
- 新車登録台数 35,224台 +21.8% (5か月連続)

(出所:九州経済産業局ほか)

■ 1月雇用:改善しているもの、一部に厳しさがみられる

(12月:改善しているものの、一部に厳しさがみられる)

● 有効求人倍率 1.34倍

前月比+0.01ポイント(10か月連続)

● 新規求人倍率 2.27倍

前月比▲0.02ポイント(2か月ぶり)

● 新規求人数

医療・福祉、卸売業・小売業、製
造業、建設業、宿泊業・飲食
サービス業の順に多い。

(出所:管内各労働局)

■ 業況:改善

● 12月の業況DI (%ポイント)

全産業 +15 変化幅+7
製造業 +6 変化幅+1
非製造業 +19 変化幅+9

● 先行き(3月)

全産業 +8 変化幅▲7
製造業 +7 変化幅+1
非製造業 +10 変化幅▲9

(出所:日本銀行福岡支店 短観12月)

■ 設備投資:増加

● 21年度

全産業 +13.9%
製造業 +18.8%
非製造業 +5.0%

● 22年度(計画)

全産業 +13.0%
製造業 +17.4%
非製造業 +4.0%

(出所:日本銀行福岡支店 短観12月)

■ 1月住宅建設:増加(2か月連続)

● 新設着工戸数 5,992戸

前年同月比 +0.5%
(2か月連続)

● 持家 1,972戸

+0.8% (8か月ぶり)

● 貸家 2,285戸

▲9.8% (9か月ぶり)

● 分譲 1,713戸

+17.5% (2か月連続)

(出所:国土交通省)

■ 1月公共投資:減少(4か月連続)

● 工事請負金額 582億円

前年同月比 ▲22.6% (4か月連続)

● 発注者別前年同月比

国 ▲45.8%
独立行政法人等 ▲80.5%
県 ▲17.2%
市町村 ▲16.8%

(出所:西日本建設業保証㈱)

■ 1月倒産:増加(5か月連続)

● 倒産件数 39件

前年同月比 +11.4%

● 負債総額 44.4億円

+24.5% (3か月連続)

● 業種別件数(前年同月比)

製造業 5件 (+400.0%)
卸・小売業 9件 (▲10.0%)
建設業 9件 (+12.5%)

(出所:㈱東京商工リサーチ福岡支社)

注)生産及び雇用は前月比、業況は前期比、輸出(2022年は確報値)、個人消費、設備投資、住宅建設、公共投資、倒産は前年同月(期)比で比較。

九経マンスリー（2023年1月）

2023年3月15日
九州経済産業局

今月の管内経済動向：九州地域の経済は、横ばいとなっている
生産は弱含み。輸出は15か月連続の増加。個人消費は持ち直している。
雇用は改善しているものの、一部に厳しさがみられる。

概 況	九州の主要経済指標(2023年1月)			
1. 生産動向 1月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、97.4となり、前月比が▲3.7%と2か月ぶりの低下となった。前年同月比は+2.0%と7か月連続の上昇となった。	■生産動向【九州経済産業局】		前月比	前年同月比
	生産指数	97.4	▲3.7	2.0
	(参考)出荷指数	90.8	▲3.9	▲0.6
	在庫指数	98.3	▲3.7	4.7
2. 設備投資動向 2022年度の設備投資(計画)は、製造業は前年度比+17.4%、非製造業は同+4.0%、全産業は同+13.0%と前年度を上回る見込み。	■設備投資動向【日本銀行福岡支店】(2021年度実績 2022年度計画)		2021年度	2022年度
	全産業		13.9	13.0
	製造業		18.8	17.4
	非製造業		5.0	4.0
3. 貿易動向 1月の輸出額は、前年同月比+15.0%と15か月連続の増加。輸入額は同+41.7%と24か月連続の増加となった。	■貿易動向【財務省】			
	輸出通関額	5,681億円		15.0
	輸入通関額	8,180億円		41.7
4. 消費動向 ●百貨店・スーパー販売額 1月の百貨店・スーパー販売額は1,378億円で前年同月比+8.8%と16か月連続の増加となった。百貨店は367億円で同+12.5%と11か月連続の増加、スーパーは1,011億円で同+7.6%と13か月連続の増加となった。 ●コンビニエンスストア販売額 1月のコンビニエンスストア販売額は、1,014億円で、前年同月比+5.7%の増加となった。店舗数は5,546店となった。 ●家電販売額 1月の家電販売額は318億円で、前年同月比▲0.8%の減少となった。 ●乗用車新車登録・届出台数 1月の乗用車新車登録・届出台数は、小型乗用車が前年を下回ったものの、普通乗用車、軽自動車が前年を上回り、乗用車全体で前年同月比+21.8%と5か月連続の増加となった。 ●家計調査 ※2018年1月分より一か月遅れの更新となります。 12月の消費支出(二人以上の世帯)は306,491円で、前年同月比+1.6%と6か月連続の増加となった。実収入(勤労者世帯)は、同▲5.5%と11か月連続の減少となった。 ●賃金(現金給与総額) 11月の賃金(5人以上の事業所)は、全産業では前年同月比+1.9%と24か月連続の増加、製造業は同+7.3%と9か月連続の増加となった。	■百貨店・スーパー販売額【九州経済産業局】			
	合計	137,837百万円		8.8
	百貨店	36,720百万円		12.5
	スーパー	101,117百万円		7.6
	■コンビニエンスストア販売額【九州経済産業局】			
	販売額	101,448百万円		5.7
	店舗数	5,546店		▲0.2
	■家電販売額【九州経済産業局】			
	販売額	31,780百万円		▲0.8
	■乗用車新車登録・届出台数【福岡県自動車販売店協会等】			
	乗用車計	35,224台		21.8
	普通乗用車	12,615台		20.4
	小型乗用車	7,553台		▲1.5
	軽自動車	15,056台		39.7
	■家計調査【総務省】(2022年12月)			
	消費支出	306,491円		(実質) 1.6
	(二人以上の世帯)			
	実収入	1,001,317円		(実質) ▲5.5
	(勤労者世帯)			
	平均消費性向(季調値、全国)	61.3%		▲0.8
	■賃金【各県】(2022年11月)			
	全産業	257,562円		1.9
	製造業	303,522円		7.3
5. 住宅建設動向 1月の新設住宅着工戸数は、貸家が減少したものの、持家、分譲が増加し、全体で前年同月比+0.5%と2か月連続の増加となった。	■住宅建設動向【国土交通省】			
	住宅着工計	5,992戸		0.5
	持家	1,972戸		0.8
	貸家	2,285戸		▲9.8
	分譲住宅	1,713戸		17.5
6. 物価動向 1月の消費者物価指数(九州)は、104.0で前年同月比+3.9%と15か月連続の上昇(前月比+0.5%)となった。国内企業物価指数は、119.8で前年同月比+9.5%と23か月連続の上昇(前月比±0.0%)となった。	■物価動向【日本銀行・総務省】			
	消費者物価指数(九州)	104.0	0.5	3.9
	企業物価指数(全国)	119.8	0.0	9.5
7. 雇用動向 1月の有効求人倍率は、前月比+0.01ポイントの1.34倍、新規求人倍率は、同▲0.02ポイントの2.27倍となった。	■雇用動向【九州各労働局】			
	有効求人倍率(季調値)	1.34倍	0.01	0.12
	新規求人倍率(季調値)	2.27倍	▲0.02	0.27
8. 公共投資動向 1月の公共工事請負金額は、前年と比較し、国、県、市町村、独立行政法人等が減少し、全体で前年同月比▲22.6%と4か月連続の減少となった。	■公共投資動向【工事請負】【西日本建設業保証㈱】			
	請負金額	58,153百万円		▲22.6
9. 企業倒産動向 1月の倒産件数は前年同月比+11.4%と5か月連続の増加、負債総額は同+24.5%と3か月連続の増加となった。	■企業倒産動向【㈱東京商工リサーチ福岡支社】			
	倒産件数	39件		11.4
	負債総額	4,440百万円		24.5

(注) ・「1. 生産動向」の指数は季調値、ただし前年比は原数値で比較。 ・「4. 消費動向」中、消費支出・実収入の前年比は、算出にあたって消費者物価指数(総務省)により実質化。また、平均消費性向は前年差で表記。

九 経 サ マ リ ー

— 最近の九州経済の動向について —

2023 年 3 月 15 日
九 州 経 済 産 業 局

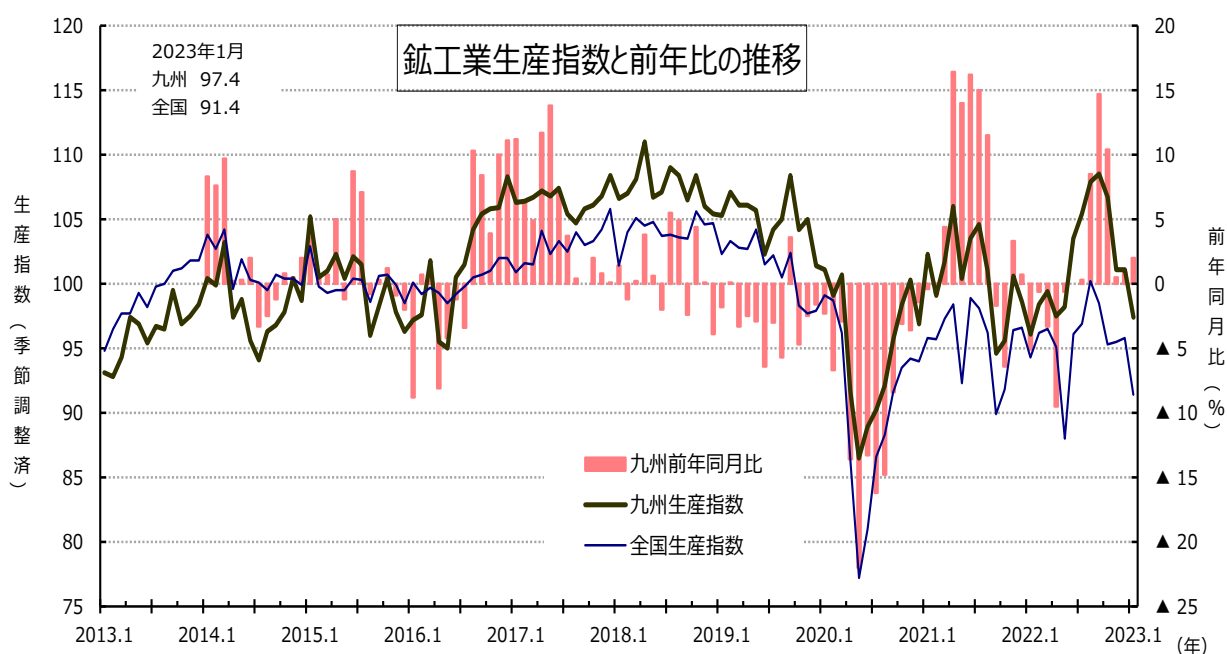
1. 生産動向

(1) 全体

2023 年 1 月の鉱工業生産指数(季節調整済)は 97.4 となり、前月比が▲3.7%と 2 か月ぶりの低下、前年同月比は+2.0%と 7 か月連続の上昇となった。

	九州				全国			
	季節調整済指数		原指数		季節調整済指数		原指数	
		前月比 %		前年同月比 %		前月比 %		前年同月比 %
生 産	97.4	▲ 3.7	93.4	2.0	91.4	▲ 4.6	85.7	▲ 2.3
出 荷	90.8	▲ 3.9	88.2	▲ 0.6	89.7	▲ 3.1	83.7	▲ 2.4
在 庫	98.3	▲ 3.7	102.2	4.7	102.3	▲ 0.9	104.1	3.2
在庫率	121.8	13.9	126.8	2.7	128.0	2.5	138.7	9.6

▲印は低下を示す。(2015年 = 100)

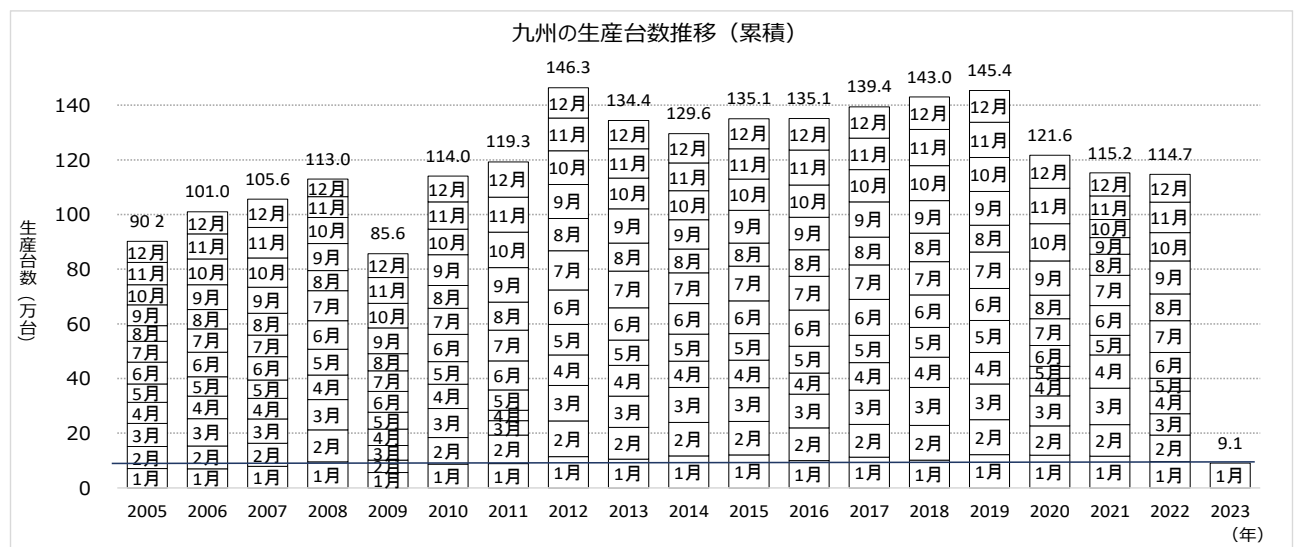


【生産】 前月比 ▲3.7 % 2か月ぶり低下 (全13業種中 上昇 5業種、低下 8業種、横ばい 0業種)

主な上昇・低下業種／ウェイト			前 年	前 月 比		主な上昇・低下品目
			同月比	前月	今月	
上 昇	電子部品・デバイス工業	1,359.4	19.3	▲ 5.4	9.2	半導体集積回路（CCD・その他）、半導体集積回路（ロジック） 等
	電気・情報通信機械工業	638.9	▲ 4.5	0.6	1.5	一般用タービン・エンジン発電機、非標準三相誘導電動機 等
低 下	汎用・生産用・業務用機械工業	1,216.8	12.3	8.5	▲ 14.6	半導体製造装置、超硬工具 等
	輸送機械工業	1,351.7	▲ 6.8	▲ 4.6	▲ 5.1	普通乗用車、軽・小型乗用車 等
	鉄鋼・非鉄金属工業	770.7	0.7	▲ 4.4	▲ 6.9	普通鋼鋼材、鋳鍛造品 等
	窯業・土石製品工業	439.4	▲ 24.1	▲ 0.1	▲ 6.2	ファインセラミックス（機能材）、ファインセラミックス（一般構造材） 等

(2) 四輪自動車生産動向

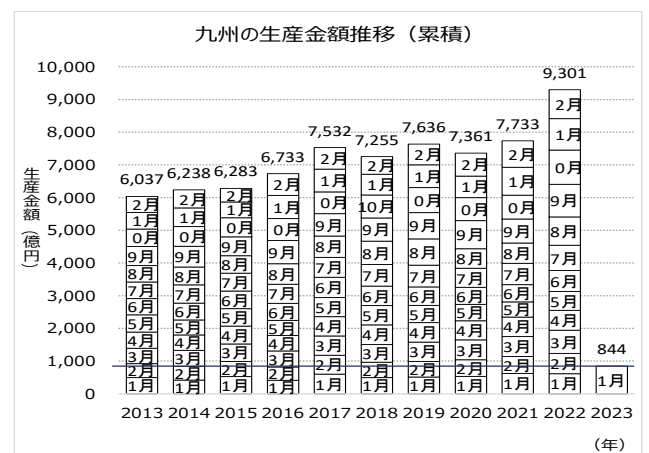
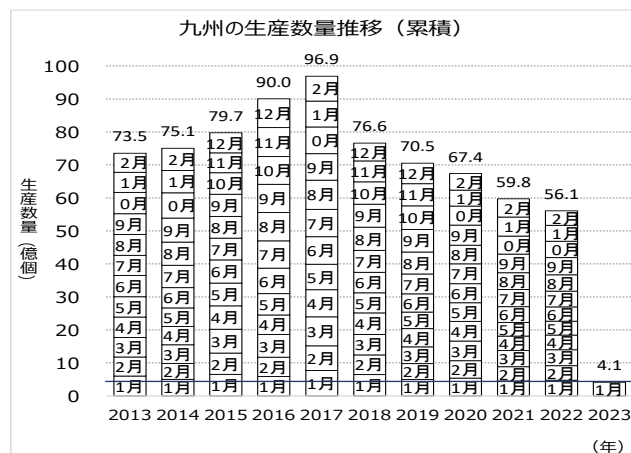
生産台数は 90,943 台と、前月比▲10.5%、前年同月比▲5.1%となった。



(3) IC生産動向

生産は、数量で 4 億 1,252 万個と、前月比▲5.9%、前年同月比▲12.8%となった。

金額で 843 億 9,400 万円と、前月比▲4.6%、前年同月比+37.7%となった。



2. 設備投資動向

設備投資額(含む土地投資額)(九州・沖縄) (前年度比、%)

	21年度		22年度	
		修正率	(計画)	修正率
製造業	18.8	－	17.4	▲ 0.9
非製造業 (除 電気・ガス)	5.0	－	4.0	0.6
全産業 (除 電気・ガス)	13.9	－	13.0	▲ 0.4
(参考)全国全産業	▲ 0.8	－	15.1	▲ 1.1

(注1) ソフトウェア投資額・研究開発投資額は含まない。

(注2) 修正率(%)は前回調査との対比。

出所: 日本銀行福岡支店 九州・沖縄「企業短期経済観測調査」12月

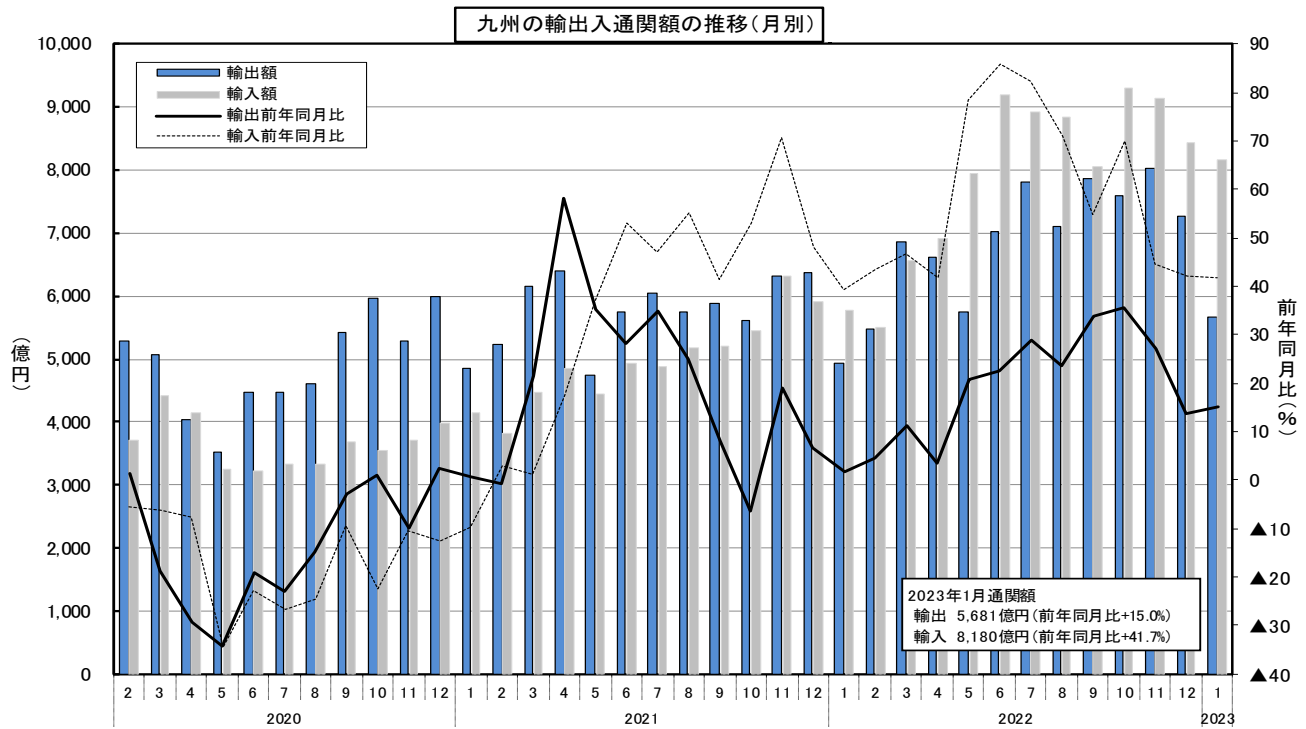
3. 貿易動向

1月		金 額	前年同月比		全国 シェア
輸 出	九州	5,681億円	+ 15.0%	15か月連続の増加	8.7%
	全国	6兆5,506億円	+ 3.5%	23か月連続の増加	－
輸 入	九州	8,180億円	+ 41.7%	24か月連続の増加	8.1%
	全国	10兆0,491億円	+ 17.8%	24か月連続の増加	－
貿易収支	九州	▲2,499億円	－	10か月連続の貿易赤字	－
	全国	▲3兆4,986億円	－	18か月連続の貿易赤字	－

出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

		2021年	2022年	2022年				2022年			2023年
				1～3	4～6	7～9	10～12	10月	11月	12月	1月
輸出通関額(円)	九州	17.2	19.1	6.2	14.8	28.9	25.1	35.7	27.1	13.8	R 15.0
	前年比: %	21.5	18.2	14.5	15.9	23.2	18.7	25.3	20.0	11.5	R 3.5
輸入通関額(円)	九州	32.8	R 58.5	43.3	68.6	69.2	R 51.8	70.2	44.7	R 42.3	P 41.7
	前年比: %	24.8	R 39.2	34.6	40.8	47.6	R 34.0	53.7	30.3	R 20.7	P 17.8
対アジア	輸出	16.5	15.8	9.1	13.5	31.2	9.2	26.8	7.5	▲ 3.1	R 5.0
	前年比: %	21.0	R 35.7	23.0	26.1	41.3	R 51.2	50.3	49.6	R 53.9	P 16.6
為替レート(¥/\$)											
(期中平均)		109.80	131.38	116.18	129.56	138.34	141.46	147.01	142.44	134.93	130.20
原油輸入価格											
(CIFベース\$/B)		69.45	R 102.49	86.10	110.82	113.07	R 100.19	106.03	100.46	R 94.99	P 88.14

出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成



出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

輸出	品 目	金額(億円)	前年同月比		寄与度	主要国等の動き ※()内は前年同月比
増加	半導体等電子部品	976	+ 46.6%	12か月連続	+6.3%	韓国(+112.8%)、ASEAN(+44.3%)、中国(+111.0%)、台湾(+6.0%)、EU(+13.1%)等が増加。香港(▲21.8%)、アメリカ(▲54.8%)等が減少。
増加	船舶類	439	+ 51.9%	2か月ぶり	+3.0%	ASEAN(+39.8%)等が増加。韓国(▲98.9%)等が減少。
増加	ゴムタイヤ及びチューブ	256	+ 56.8%	23か月連続	+1.9%	アメリカ(+180.8%)、ASEAN(+115.2%)、中東(+18.8%)、中国(+138.4%)、香港(+188.2%)等が増加。EU(▲20.3%)、韓国(▲13.0%)、台湾(▲50.5%)等が減少。
増加	鉄鋼のフラットロール製品	479	+ 20.7%	5か月連続	+1.7%	韓国(+3.3%)、中国(+50.0%)、EU(+30010.2%)、アメリカ(+614.9%)、台湾(+15.0%)等が増加。ASEAN(▲0.1%)、中東(▲38.6%)、香港(▲44.0%)等が減少。
増加	半導体等製造装置	228	+ 50.0%	9か月連続	+1.5%	中国(+231.1%)、韓国(+4.3%)、台湾(+84.7%)、ASEAN(+55.4%)、EU(+167.9%)等が増加。アメリカ(▲71.3%)、中東(▲25.2%)、香港(▲70.7%)等が減少。
増加	自動車	1,025	+ 3.3%	7か月連続	+0.7%	アメリカ(+45.5%)、中東(+87.3%)、台湾(+81.3%)、EU(+10250.8%)、韓国(+299.6%)、ASEAN(+125.1%)、香港(+28.0%)等が増加。中国(▲70.4%)等が減少。
減少	有機化合物	170	▲ 7.0%	3か月ぶり	▲0.3%	中国(+8.4%)、EU(+22.9%)、台湾(+23.7%)、中東(+402.8%)等が増加。ASEAN(▲20.5%)、韓国(▲31.3%)、アメリカ(▲40.5%)等が減少。

出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

輸入	品 目	金額(億円)	前年同月比		寄与度	数量	前年同月比	
増加	原油及び粗油	1,692	+102.4%	21か月連続	+14.8%	2,341千KL	+ 60.8%	2か月ぶり
増加	液化天然ガス	528	+228.0%	12か月連続	+6.4%	4,352百MT	+ 77.6%	2か月ぶり

出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

輸出	国 別	金額(億円)	前年同月比		寄与度	主要品目の動き ※()内は前年同月比
増加	EU	486	+102.2%	5か月連続	+5.0%	自動車(+10250.8%)、鉄鋼のフラットロール製品(+30010.2%)、有機化合物(+22.9%)、半導体等電子部品(+13.1%)、半導体等製造装置(+167.9%)等が増加。ゴムタイヤ及びチューブ(▲20.3%)等が減少。
増加	台湾	486	+ 50.1%	5か月連続	+3.3%	自動車(+81.3%)、半導体等製造装置(+84.7%)、半導体等電子部品(+6.0%)、有機化合物(+23.7%)、鉄鋼のフラットロール製品(+15.0%)等が増加。ゴムタイヤ及びチューブ(▲50.5%)等が減少。
増加	アメリカ合衆国	648	+ 31.9%	8か月連続	+3.2%	自動車(+45.5%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+180.8%)、鉄鋼のフラットロール製品(+614.9%)等が増加。半導体等製造装置(▲71.3%)、有機化合物(▲40.5%)、半導体等電子部品(▲54.8%)等が減少。
増加	ASEAN	912	+ 13.9%	2か月連続	+2.3%	半導体等電子部品(+44.3%)、船舶類(+39.8%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+115.2%)、自動車(+125.1%)、半導体等製造装置(+55.4%)等が増加。鉄鋼のフラットロール製品(▲0.1%)、有機化合物(▲20.5%)等が減少。
増加	大韓民国	914	+ 9.2%	30か月連続	+1.6%	半導体等電子部品(+112.8%)、自動車(+299.6%)、鉄鋼のフラットロール製品(+3.3%)、半導体等製造装置(+4.3%)等が増加。有機化合物(▲31.3%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲13.0%)、船舶類(▲98.9%)等が減少。
増加	中東	189	+ 37.2%	14か月連続	+1.0%	自動車(+87.3%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+18.8%)、有機化合物(+402.8%)等が増加。鉄鋼のフラットロール製品(▲38.6%)、半導体等製造装置(▲25.2%)等が減少。
増加	香港	256	+ 5.0%	2か月ぶり	+0.2%	ゴムタイヤ及びチューブ(+188.2%)、自動車(+28.0%)等が増加。半導体等電子部品(▲21.8%)、鉄鋼のフラットロール製品(▲44.0%)、半導体等製造装置(▲70.7%)等が減少。
減少	中華人民共和国	803	▲ 24.4%	2か月連続	▲5.2%	半導体等製造装置(+231.1%)、半導体等電子部品(+111.0%)、有機化合物(+8.4%)、鉄鋼のフラットロール製品(+50.0%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+138.4%)等が増加。自動車(▲70.4%)等が減少。

出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

輸入	国 別	金額(億円)	前年同月比		寄与度
増加	中東	1,813	+ 86.2%	21か月連続	+14.5%
増加	オーストラリア	1,534	+ 70.0%	22か月連続	+10.9%
増加	ASEAN	1,103	+ 31.9%	11か月連続	+4.6%
増加	アメリカ合衆国	424	+ 39.0%	14か月連続	+2.1%
増加	中華人民共和国	1,144	+ 6.2%	9か月連続	+1.1%
増加	ペルー	120	+ 73.6%	2か月ぶり	+0.9%
増加	EU	163	+ 28.3%	2か月連続	+0.6%
増加	ナイジェリア	1	+569.5%	3か月ぶり	+0.0%
減少	大韓民国	217	▲ 9.9%	7か月ぶり	▲0.4%
減少	ロシア	112	▲ 2.7%	3か月連続	▲0.1%

出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

4. 消費動向

(1)百貨店・スーパー

(単位：百万円、%)

		合 計		百貨店		スーパー	
		販売額	前年同月比	販売額	前年同月比	販売額	前年同月比
			全店 (既存店)		全店 (既存店)		全店 (既存店)
全 国		1,775,308	5.9 (5.3)	476,413	14.4 (14.8)	1,298,895	3.1 (2.2)
九 州 計		137,837	8.8 (8.2)	36,720	12.5 (12.5)	101,117	7.6 (6.7)
	衣料品	29,080	13.0 (13.3)	18,928	11.6 (11.6)	10,151	15.7 (16.4)
	飲食料品	71,853	8.7 (7.8)	7,683	15.7 (15.7)	64,169	7.9 (6.9)
	その他	36,904	6.1 (5.2)	10,108	11.8 (11.8)	26,796	4.1 (2.9)

【注】 九州計の数値は沖縄を含む。

	品 目	寄与度 (全店)	主 な 動 き (全店)	前年同月比(%)	
				全店	既存店
百貨店	合計	12.5	人流の回復による入店客数の増加等により全般的に好調だったことから、11か月連続の増加となった。	12.5	12.5
	衣料品計	6.0	ラグジュアリーブランドを中心に全般的に好調だったことから、11か月連続の増加となった。	11.6	11.6
	飲食料品	3.2	菓子や総菜が好調だったことなどから、3か月ぶりの増加となった。	15.7	15.7
	その他計	3.3	高額品が引き続き好調だったことに加え、化粧品、食堂・喫茶が好調だったことなどから2か月ぶりの増加となった。	11.8	11.8
スーパー	合計	7.6	価格上昇の影響に加え、飲食料品を中心に全般的に動きが良かったことから、13か月連続の増加となった。	7.6	6.7
	衣料品計	1.5	バッグ等の身の回り品、婦人服が好調だったことから、2か月連続の増加となった。	15.7	16.4
	飲食料品	5.0	価格上昇の影響に加え、簡便食品の動きが良かったことなどから、17か月連続の増加となった。	7.9	6.9
	その他計	1.1	日用品に動きがみられたことなどから、13か月連続の増加となった。	4.1	2.9

(2)コンビニエンスストア、専門量販店

(単位：百万円、店、%)

	九 州				全 国			
	販売額	前年同月比	店舗数	前年同月比	販売額	前年同月比	店舗数	前年同月比
コンビニエンスストア	101,448	5.7	5,546	▲ 0.2	992,377	4.1	56,212	▲ 0.3
全国比	10.2	—	9.9	—	—	—	—	—
家電大型専門店	31,780	▲ 0.8	322	0.9	418,448	▲ 1.2	2,667	1.2
全国比	7.6	—	12.1	—	—	—	—	—
ドラッグストア	58,722	3.9	1,507	3.6	647,906	4.9	18,459	4.5
全国比	9.1	—	8.2	—	—	—	—	—
ホームセンター	25,774	▲ 1.0	555	1.1	246,171	▲ 1.7	4,435	1.3
全国比	10.5	—	12.5	—	—	—	—	—

(注1) 数値は経済産業省 商業動態統計より抜粋。

(3) 乗用車新車登録・届出台数動向

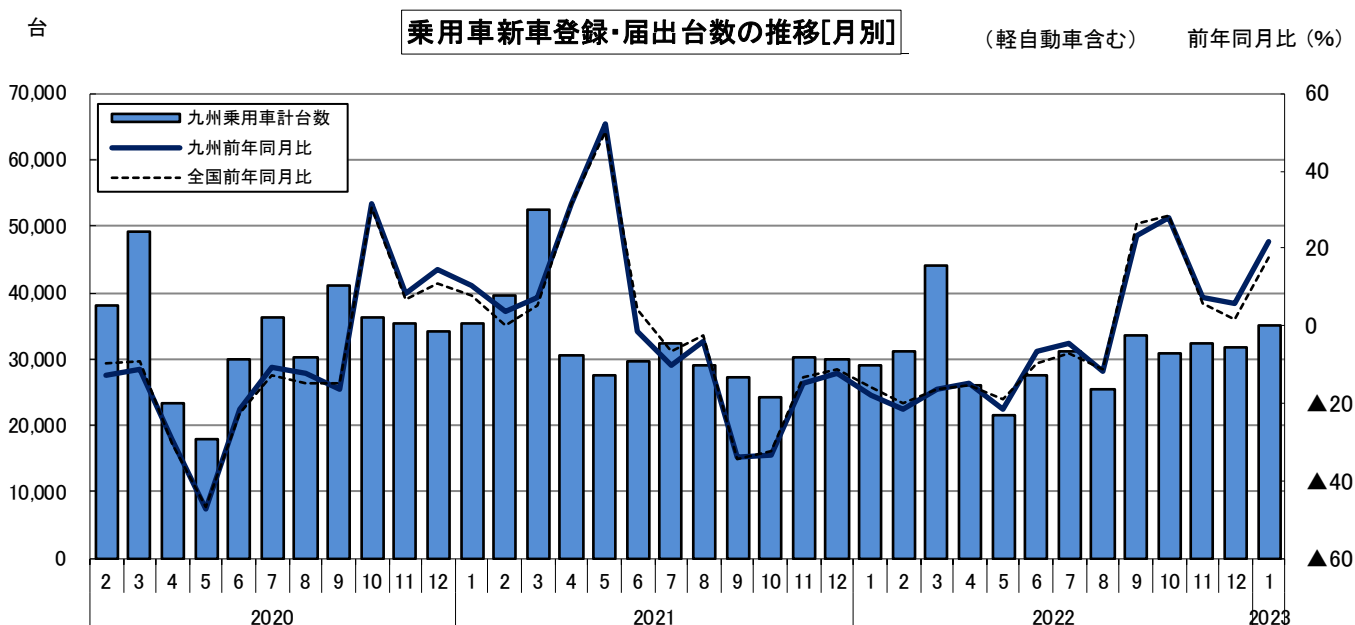
1月	九 州			全 国		
	台数(台)	前年同月比		台数(台)	前年同月比	
全体	35,224台	+ 21.8%	5か月連続	319,565台	+ 17.5%	5か月連続
普通	12,615台	+ 20.4%	3か月ぶり	128,921台	+ 19.6%	2か月ぶり
小型	7,553台	▲ 1.5%	2か月連続	73,029台	▲ 0.9%	2か月連続
軽	15,056台	+ 39.7%	5か月連続	117,615台	+ 29.9%	5か月連続

出所：日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

前年同月比(%)

		2021年	2022年	2022年				2022年			2023年
				1~3	4~6	7~9	10~12	10月	11月	12月	1月
九州	全体	▲ 3.9	▲ 6.1	▲ 18.3	▲ 14.1	1.7	12.6	27.8	7.1	5.9	21.8
	普通乗用車	6.2	▲ 6.9	▲ 15.7	▲ 16.7	1.2	6.7	26.8	▲ 0.3	▲ 1.4	20.4
	小型乗用車	▲ 15.4	▲ 5.5	▲ 10.8	▲ 13.4	▲ 0.9	5.0	27.1	0.4	▲ 7.4	▲ 1.5
	軽自動車	▲ 3.9	▲ 5.7	▲ 24.5	▲ 12.6	3.9	22.9	29.1	18.1	22.4	39.7
全国	全体	▲ 3.5	▲ 6.2	▲ 17.4	▲ 14.5	2.1	10.8	28.5	5.7	1.5	17.5
	普通乗用車	5.6	▲ 7.0	▲ 16.5	▲ 16.1	3.3	5.5	21.6	2.4	▲ 3.8	19.6
	小型乗用車	▲ 14.1	▲ 7.9	▲ 12.1	▲ 15.9	▲ 7.3	5.8	27.2	2.2	▲ 8.2	▲ 0.9
	軽自動車	▲ 4.2	▲ 4.0	▲ 21.9	▲ 11.7	8.3	20.8	37.2	11.9	16.5	29.9

出所：日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会



出所：日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

(4) 家計調査動向

(二人以上の世帯)

12月	名 目		実質/前年同月比	
消費支出	九州	30万6,491円	+ 1.6%	6か月連続
	全国	32万8,114円	▲ 1.3%	2か月連続

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

12月	名 目		実質/前年同月比	
実収入	九州	100万1,317円	▲ 5.5%	11か月連続
	全国	115万0,808円	▲ 0.4%	3か月連続

(二人以上の世帯)

2022年	名 目		実質/前年比	
消費支出	九州	26万5,305円	▲ 0.6%	4年連続
	全国	29万0,865円	+ 1.2%	2年連続

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

2022年	名 目		実質/前年比	
実収入	九州	54万5,284円	▲ 3.8%	2年連続
	全国	61万7,654円	▲ 1.0%	2年連続

出所:総務省「家計調査報告」

(5) 賃 金 (現金給与総額)

11月 九州	現金給与総額	前年同月比		残業時間	前年同月比	
全産業	25万7,562円	+ 1.9%	24か月連続	9.4時間	▲ 3.4%	20か月ぶり
製造業	30万3,522円	+ 7.3%	9か月連続	15.1時間	+ 0.1%	21か月連続

出所:九州各県、厚生労働省「毎月勤労統計調査」

5人以上規模・全国製造業入り

前年同月比(%)

毎月勤労統計		2021年	2022年	2022年				2022年			
				1～3	4～6	7～9	10～12	9月	10月	11月	12月
九州	全産業	1.4	－	0.9	2.2	1.2	－	1.1	1.0	1.9	－
	製造業	3.5	－	3.5	6.0	3.5	－	2.7	3.5	7.3	－
全国	全産業	0.3	2.0	1.5	1.5	1.7	2.9	2.2	1.4	1.9	4.1
	製造業	2.0	1.7	0.4	1.1	2.1	2.5	0.7	1.1	1.7	3.5

出所:九州各県、厚生労働省「毎月勤労統計調査」

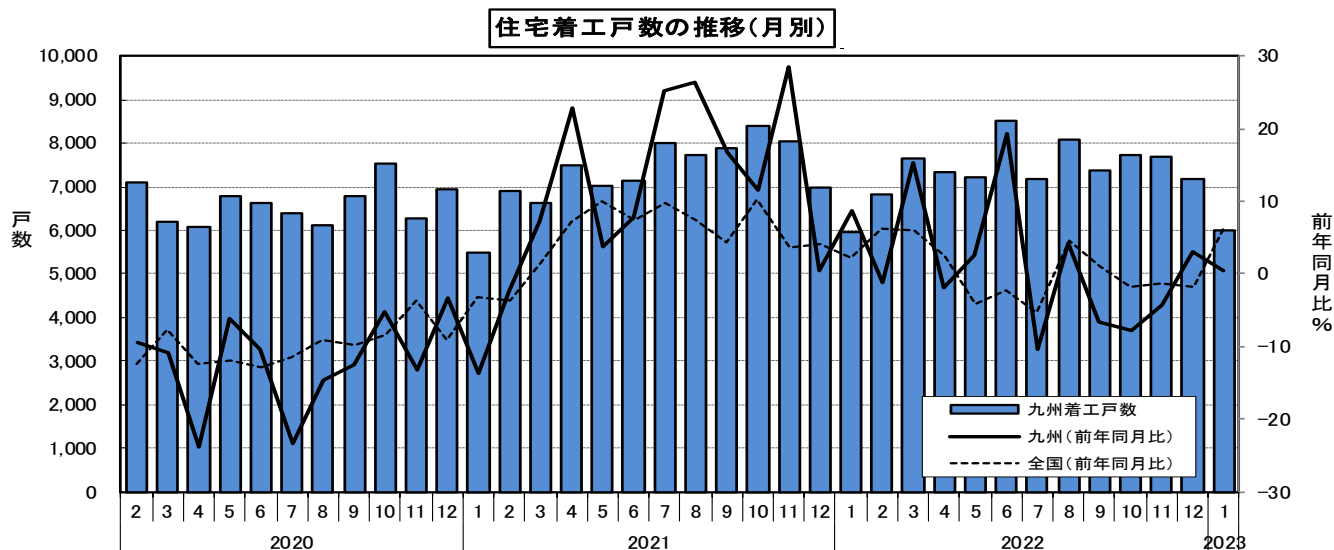
5. 住宅建設動向

1月 九州	戸数	前年同月比	
総数	5,992戸	+ 0.5%	2か月連続
持家	1,972戸	+ 0.8%	8か月ぶり
貸家	2,285戸	▲ 9.8%	9か月ぶり
分譲	1,713戸	+ 17.5%	2か月連続
全国	戸数	前年同月比	
総数	63,604戸	+ 6.6%	4か月ぶり
持家	16,627戸	▲ 8.3%	14か月連続
貸家	24,041戸	+ 4.2%	23か月連続
分譲	22,698戸	+ 25.0%	2か月連続

出所: 国土交通省「建築着工統計調査」

項 目		2021年	2022年	2022年				2022年			2023年
				1~3	4~6	7~9	10~12	10月	11月	12月	1月
新設住宅着工戸数 前年比: %	九州	10.9	12	7.4	6.6	▲ 4.3	▲ 3.4	▲ 7.9	▲ 4.4	3.1	0.5
	全国	5.0	0.4	4.9	▲ 1.3	0.0	▲ 1.6	▲ 1.8	▲ 1.4	▲ 1.7	6.6
	持 家	九州	9.8	▲ 12.6	▲ 10.2	▲ 6.3	▲ 16.9	▲ 15.6	▲ 18.4	▲ 17.7	▲ 10.4
		全国	9.4	▲ 11.3	▲ 6.9	▲ 8.9	▲ 12.8	▲ 15.7	▲ 18.7	▲ 15.1	▲ 13.0
	貸 家	九州	3.8	11.5	22.6	8.1	8.2	9.2	7.6	13.4	6.6
		全国	4.8	7.4	13.5	2.5	6.3	8.4	7.3	11.4	6.4
	分譲住宅	九州	27.1	3.6	9.3	23.8	▲ 9.2	▲ 6.2	▲ 19.4	▲ 11.6	20.4
		全国	1.5	4.7	7.6	2.7	7.1	1.8	4.8	▲ 0.8	1.4

出所: 国土交通省「建築着工統計調査」



6. 物価動向

1月	九州	消費者物価指数	前月比		前年同月比	
	総合	104.0	+ 0.5%	13か月連続	+ 3.9%	15か月連続
1月	全国	消費者物価指数	前月比		前年同月比	
	総合	104.7	+ 0.5%	7か月連続	+ 4.3%	17か月連続

1月	全国	企業物価指数	前月比		前年同月比	
	国内企業物価指数	119.8	0.0%	横ばい	+ 9.5%	23か月連続
	輸出物価指数(円ベース)	123.9	▲ 1.9%	3か月連続	+ 9.0%	23か月連続
	輸入物価指数(円ベース)	163.8	▲ 3.9%	4か月連続	+ 17.8%	23か月連続

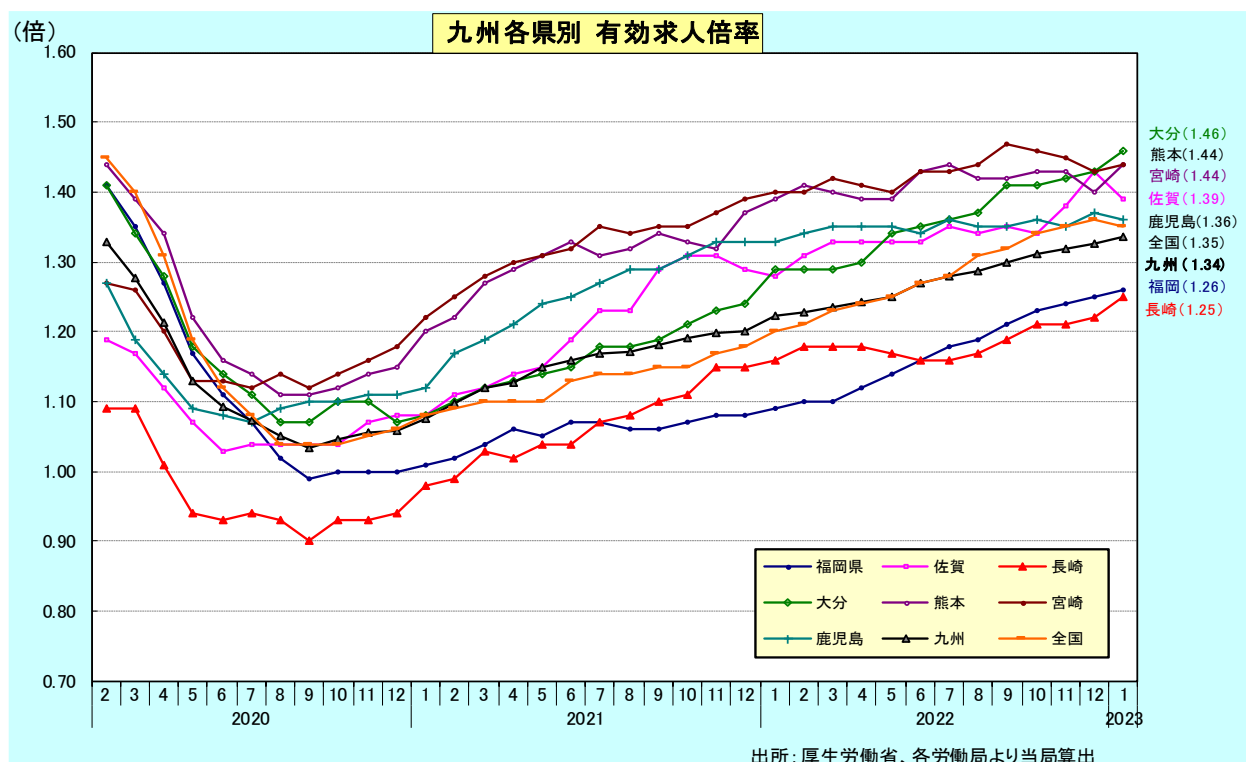
出所：総務省「消費者物価指数」(2020年基準)、日本銀行「企業物価指数」(2020年基準)

7. 雇用動向

項目		2021年	2022年	2022年 1～3	4～6	7～9	10～12	2022年 10月	11月	12月	2023年 1月
有効求人倍率	九州	1.15	1.27	1.23	1.25	1.29	1.32	1.31	1.32	1.33	1.34
	全国	1.13	1.28	1.21	1.25	1.30	1.35	1.34	1.35	1.36	1.35
新規求人倍率	九州	1.96	2.15	2.05	2.12	2.21	2.24	2.23	2.21	2.29	2.27
	全国	2.02	2.26	2.20	2.23	2.31	2.37	2.33	2.38	2.38	2.38

(注1) 月次と求人倍率の四半期は季節調整済値による

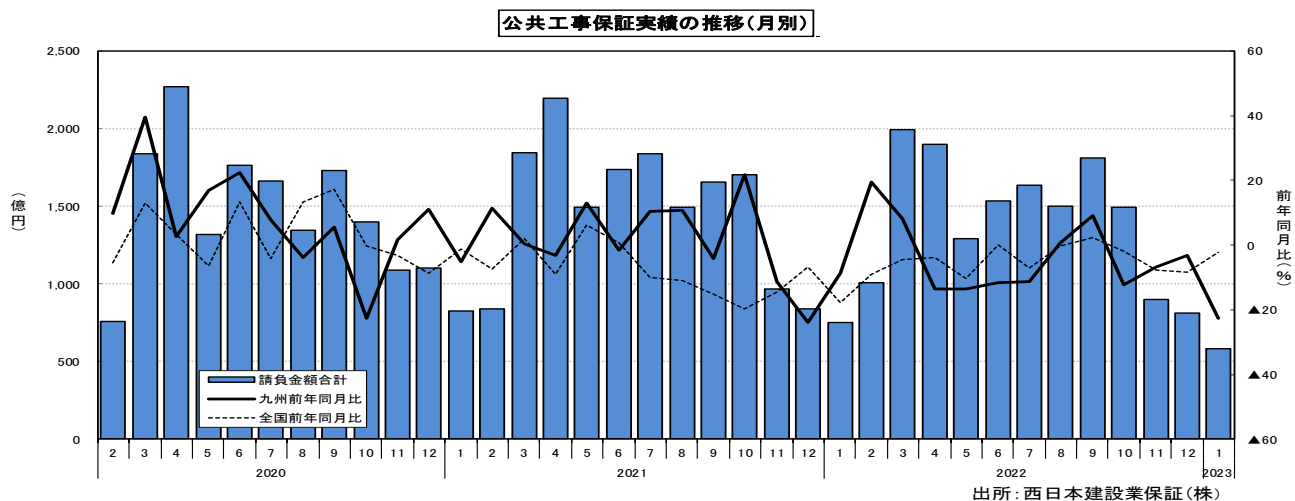
出所：厚生労働省、各労働局資料より九州経済産業局作成



8. 公共投資動向

1月	請負額	前年同月比		前年同月比				
				国	独立行政法人等	県	市町村	その他
九州	582億円	▲ 22.6%	4か月連続	▲ 45.8%	▲ 80.5%	▲ 17.2%	▲ 16.8%	+ 72.5%
全国	5,088億円	▲ 2.3%	4か月連続	+ 18.6%	▲ 44.3%	▲ 4.4%	+ 3.3%	▲ 19.9%

出所：西日本建設業保証(株)

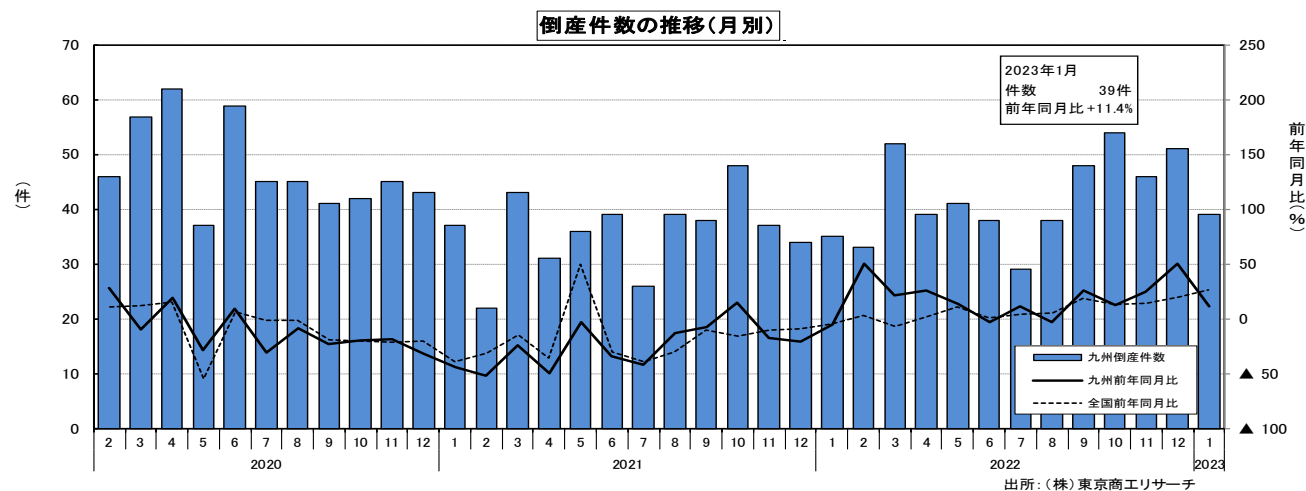


9. 企業倒産動向

1月		前年同月比		
倒産件数	九州	39件	+ 11.4%	5か月連続
	全国	570件	+ 26.1%	10か月連続
負債総額	九州	44.4億円	+ 24.5%	3か月連続
	全国	565.2億円	▲ 15.6%	2か月連続

1月	業種別	前年同月比		
倒産件数	製造	5件	+400.0%	6か月連続
	卸・小売	9件	▲ 10.0%	2か月ぶり
	建設	9件	+ 12.5%	2か月連続
	その他	16件	0.0%	横ばい

出所：(株)東京商工リサーチ



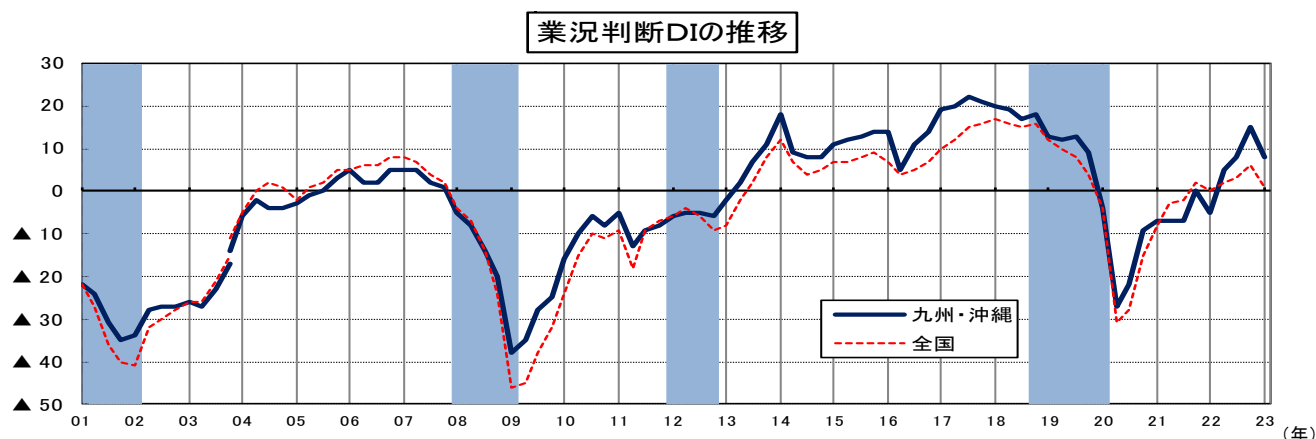
(参考)業況判断

(1) 日本銀行「企業短期経済観測調査」

日銀短観(12月調査)によると、九州・沖縄の業況判断DIは、製造業DIは+6(前回調査比+1ポイント)、非製造業は+19(同+9ポイント)、全産業で+15(同+7ポイント)となった。次回予測(23年3月)の数値は、製造業は+7(12月比+1ポイント)、非製造業は+10(同▲9ポイント)、全産業で+8(同▲7ポイント)と予測。

												(先行き)
		2020年		2021年				2022年				2023年
業況判断DI		9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月
全産業	九州・沖縄	▲ 22	▲ 9	▲ 7	▲ 7	▲ 7	0	▲ 5	5	8	15	8
	全国	▲ 28	▲ 15	▲ 8	▲ 3	▲ 2	2	0	2	3	6	1
製造業	九州・沖縄	▲ 29	▲ 13	▲ 4	▲ 2	▲ 3	1	▲ 3	1	5	6	7
	全国	▲ 37	▲ 20	▲ 6	2	5	6	2	1	0	2	▲ 2
非製造業	九州・沖縄	▲ 19	▲ 6	▲ 8	▲ 9	▲ 10	▲ 1	▲ 6	7	10	19	10
	全国	▲ 21	▲ 11	▲ 9	▲ 7	▲ 7	0	▲ 2	4	5	10	3

※調査対象企業見直しに伴い、27年3月調査以降は新ベースデータ。



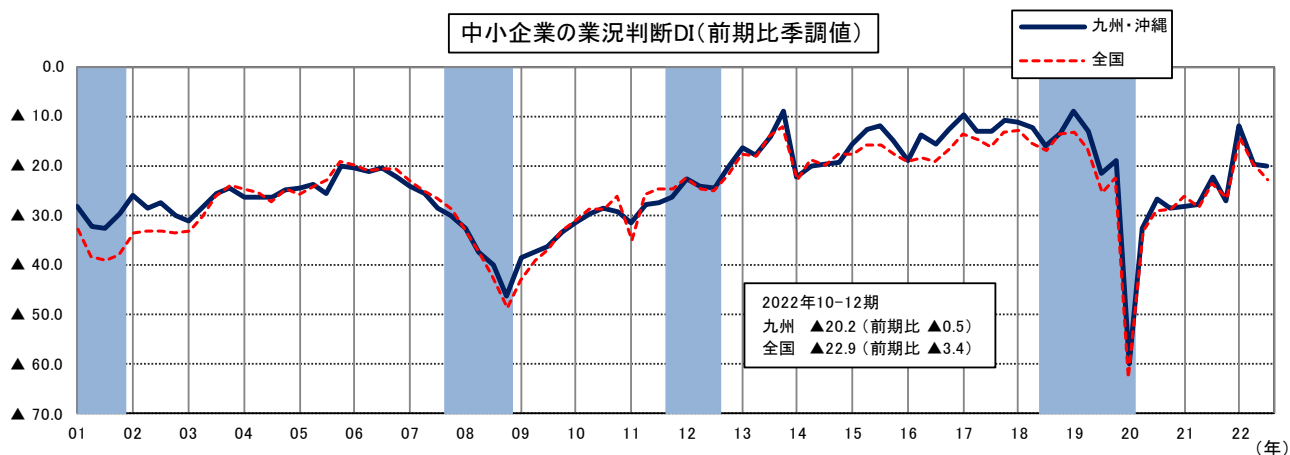
(注) 網掛け部分は景気後退期

出所: 日本銀行福岡支店 九州・沖縄「企業短期経済観測調査」

(2) 中小企業庁「中小企業景況調査」

中小企業景況調査(2022年10-12月期)によると、九州・沖縄における中小企業の業況判断DI(前期比季調値)は全産業で▲20.2と前期から▲0.5ポイントの低下となった。

業況判断DI (前期比季調値)		2020年		2021年		2022年		2022年		2022年	
		7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
全産業	九州・沖縄	▲32.7	▲26.7	▲28.5	▲28.1	▲28.0	▲22.2	▲27.0	▲12.0	▲19.7	▲20.2
	全国	▲33.3	▲29.1	▲28.7	▲26.2	▲28.4	▲23.5	▲26.6	▲14.4	▲19.5	▲22.9
製造業	九州・沖縄	▲35.7	▲27.9	▲22.9	▲22.1	▲21.5	▲22.1	▲19.0	▲11.3	▲17.0	▲18.9
	全国	▲40.3	▲30.1	▲24.8	▲17.1	▲17.9	▲19.5	▲17.6	▲12.7	▲15.2	▲19.2
非製造業	九州・沖縄	▲33.1	▲25.9	▲29.7	▲29.4	▲31.4	▲21.7	▲28.9	▲12.4	▲20.0	▲20.7
	全国	▲31.0	▲28.9	▲30.1	▲29.2	▲31.7	▲24.9	▲29.6	▲15.1	▲21.0	▲24.0



(注) 網掛け部分は景気後退期

出所: 中小企業庁「中小企業景況調査」